

【会議録】

主 題 令和３年度 第２回つくばみらい市地域公共交通会議

- 日 時：令和３年６月１８日（金） 午後１時３０分～午後２時２５分
- 場 所：つくばみらい市役所谷和原庁舎 ２階 会議室 １、２
- 出席委員：秋山義継会長、染谷 武副会長、武藤成一委員、田中正利委員（代理：高田 誠氏）
富山和之委員、川上敬一委員、鈴木裕一委員、牧瀬成博委員、
中村 浩委員（代理：中村敦子氏）、山野井周一委員、
松本譲二委員（代理：飯島宣昭氏）、野村俊光委員、海老原弘委員、下鳥百合子委員、
島崎邦雄委員、大郷秀樹委員、渡来真一委員（代理：海老原諒太氏）、伊藤和浩委員
以上１８名
- 欠席委員：小川一成委員、服部 透委員、中嶋克寿委員、石塚成美委員、岡野富士男委員
以上５名
- 事 務 局：都市建設部 石島部長
都市計画課 荒井課長、藤倉課長補佐、渋谷主査、堀越係長、岩上主事
（株）アルメックＶＰＩ 内山上席コンサルタント
- 傍 聴 人：１名

- 次第
 - １ 開会
 - ２ 委嘱状交付
 - ３ 市長あいさつ
 - ４ 役員選出（会長・副会長）
 - ５ 会長あいさつ
 - ６ 議題
 - 承認事項
 - （１）令和４年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について
 - （２）コミュニティバスお試し乗車券について
利用促進活動について
 - 報告事項
 - （１）ＪＡとりで総合医療センター 病院バス実証運行について
 - （２）市北西部公共交通アンケート調査について
 - （３）その他
 - ７ 閉会

- 会議要旨
- 役員選出（会長・副会長）
 - ・拓殖大学教授の秋山義継委員が会長に選出された。
 - ・つくばみらい市総務部長の染谷 武委員が副会長に選出された。
- 議題
- 承認事項
 - （１）令和４年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について
 - ・令和４年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について説明し、承認された。
 - （２）コミュニティバスお試し乗車について
利用促進活動について
 - ・コミュニティバスのお試し乗車券、および利用促進活動について説明し、承認された。

報告事項

- (1) J Aとりで総合医療センター 病院バス実証運行について
 - ・ J Aとりで総合医療センターへの病院バス実証運行について、開始時期・ルート図・時刻表、および利用者インタビュー調査、沿線区長へ対して実施予定のアンケート調査について報告した。
- (2) 市北西部公共交通アンケートについて
 - ・ 現在コミュニティバスが運行していない市北西部について、交通手段に関する実態把握を目的として実施予定のアンケート調査について報告した。
- (3) その他
 - ・ 今後予定するコミュニティバス 利用者アンケート調査の実施、筑波学園病院 病院バス 利用者アンケート調査の実施について報告した。市北西部公共交通アンケート調査に伴う、次回以降の交通会議への関係区長（代表者）の出席について報告した。

●会議録

- 1 開会（午後1時30分）
- 2 委嘱状交付
 - ・ 委員の任期満了に伴い、委員となられた方々に委嘱状を交付した。
- 3 市長あいさつ
- 4 役員選出（会長・副会長）
- 5 会長あいさつ
- 6 議題

協議事項

- (1) 令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について
 - ・ 令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について説明し、承認された。

【質疑等】

委員意見：「地域内フィーダー系統」とはどういう意味なのだろうか。

事務局：幹線の交通ネットワークに接続するため、幹線の支線として運行している地域公共交通のことを総称して「地域内フィーダー系統」と呼んでいる。

会長：地域によっては交通需要密度に差があり、利用者が少なく交通空白地域となっている地域がある。そういったところに幹線系統の交通に接続する支線的な交通手段を設定するということについてご理解いただければと思う。

- (2) コミュニティバスお試し乗車について
利用促進活動について

・ コミュニティバスのお試し乗車券、および利用促進活動について説明し、承認された。

【質疑等】

委員意見：お試し乗車券の裏面のアンケートについてだが、「乗車回数」のところは、お試し乗車券を使つての乗車のことを指しているのか、コミュニティバス自体の乗車のことを指しているのか、曖昧に感じる。それと、「2回目以降」とあるが、「2回目以上」が正しいのではないだろうか。

事務局：アンケートの「乗車回数」のところでは、コミュニティバス自体の乗車が初めてなのかそうでないのかをお聞きしたいと考えている。「2回目以降」という表

現については、委員のご指摘のとおりであるため、修正した上でチラシを配布させていただきたいと思う。

委員意見：お試し乗車券の期間が8月25日から9月30日となっているが、これは東京オリンピック、および市内の65歳以上のワクチン接種が終了した時期として設定したのか。

事務局：お試し乗車券の有効期限の設定については、委員のおっしゃる通り東京オリンピックの終了後であること、また、つくばみらい市内における高齢者の方へのワクチン接種の進捗状況により、この時期に設定をした。さらに、昨年の新型コロナウイルスの感染状況の推移をみると、秋以降に感染が拡大しており、夏から秋口にかけては感染者数が少なかったというところも踏まえての設定である。

委員意見：9月5日に茨城県知事選挙、また9月に衆議院の解散の話も出ているが、それによる影響はあるだろうか。

事務局：市内の全ての投票所についてコミュニティバスで行くことは不可能であるが、一部コミュニティバスが利用可能な投票所もある。そういったところでご利用いただくことによって、県知事選挙の投票率向上に寄与できればと思っている。衆議院選挙については、現段階で投票日が未確定なため、考慮していない。

報告事項

(1) J Aとりで総合医療センター 病院バス実証運行について

- ・J Aとりで総合医療センターへの病院バス実証運行について、開始時期・ルート図・時刻表、および利用者インタビュー調査、沿線区長へ対してのアンケート調査について報告した。

【質疑等】

委員意見：病院バスをよりよいものとするため、今回のインタビュー・アンケート調査はよろしいかと思う。そのインタビュー調査の中で1点教えていただきたい点がある。設問6で病院バスの満足度を聞いているが、その3つ目の項目に「車両」とあるが、これは車両について何の満足度を聞きたいのか教えていただきたい。

事務局：昨年実施した筑波学園病院への病院バスのインタビュー調査の際にもこの設問を用意したが、バスの車両が乗りやすいかどうかは様々なアンケートで聞いているものである。すぐにいい車両に変えるというのは難しいが、乗り心地を聞くという点でこの設問を用意している。

委員意見：車両を変える想定の設定であればよいが、そうでなければ聞く必要はないかと思われる。

事務局：車両についてはすぐに変えるというのは難しいため、設問にいれるかどうかは事務局にて再度検討したいと思う。

会長：このようなアンケートを実施するのは非常に重要である。設問に今までどのような交通手段で通院していたのかを加えるのはどうだろうか。

事務局：今までの交通手段を聞くのは非常に重要なことであるため、設問へ新たに追加したいと思う。

会長：一番考えなければならないことは、今まで路線バスを利用して通院していた方が、この病院バスを利用することで路線バスの利用者を減らしてしまうことである。路線バスが整備されていて、その他の交通需要に答えるのが大事である。料金も含めてその点を配慮してやっていただきたいと思う。

事務局：ルート設定については、路線バスが運行している県道等には今回の病院バスのバス停を設置しないよう設定をした。路線バス事業者を圧迫しないよう今後とも配慮していく。

委員意見：バスの停留所についてだが、「足高公民館前」など具体的に書いてあるところは分かりやすいが、地区名しか書いていないところは、既にコミュニティバス等

のバス停が設置されているということだろうか。そうでないところについては、地区名だけでは分かりにくいと思う。

また、現在の路線バスは、平日のダイヤではＪＡとりで総合医療センターへの乗り継ぎが土日のダイヤと比較すると待ち時間が長くなってしまう。土日のダイヤに近づけることはできないのだろうか。

事務局：バス停については、基本的にコミュニティバスのバス停と同じ場所に設置している。ただ、ご指摘のとおり、新設するバス停もあり、そういったところについては、周知の際に分かりやすいよう工夫をしていく。

路線バスの接続についてだが、当市における路線バスは広域的な移動手段として幹線交通に位置付けている。幹線交通であるため、まずは交通結節点である取手駅に移動していただき、そこから鉄道や他の路線系統に乗り継ぎすることによってＪＡとりで総合医療センターなど、様々な場所に移動できる形になっている。取手駅から次の目的地となると、次の便に間に合ったり間に合わなかったりする場合があるが、事務局としては、まずは交通結節点である取手駅への広域的な移動手段として捉えている。

委員意見：土日と平日ではダイヤの構成の仕方が違う。平日は土日よりも細かくダイヤが設定されており、車両の台数も多い。それに対し、土日は少ない車両の中での間隔運転となるため、平日を土日のようなダイヤで組むことは難しい。

会長：路線バスは、自動車の多い時間帯に様々な統計を用いて車両等を時間配分していく。平日と土日では条件が違ってくるのに加え、運賃収入を得て利益を出さなければならない。多くの人を使うであろうという予測をもってダイヤを組むが、一人一人の目線でみると利用しにくいというところは当然でてきてしまう。一番の理想は短い間隔で何本も運行することだが、それは難しい。事務局もそういう意見があったということで、できるだけ対応していただけたらと思う。

委員意見：去年の筑波学園病院の病院バスのインタビュー調査は、運賃の設問はどのような聞き方をしたのだろうか。

事務局：去年のインタビュー調査の原案は、「いくらがいいのか」という直接的な聞き方をしていた。しかし、会議の中で選択肢制のほうがよいという意見があったため、今回と同じような聞き方に変更した。

委員意見：しかし、やはりこれだと一番安い選択肢を選ぶ人ばかりになってしまうのではないだろうか。

事務局：去年の筑波学園病院の病院バスのインタビュー調査の際はそういう結果にならなかった。自由回答の中で「千円でもいい」と回答した方もいらっしまった。選択肢回答でも、一番安い選択肢につける方ばかりではなかった。そのサービスに対して何が適しているのかを考えてくれる人もいるということが前回のアンケートで分かったため、その結果を踏まえて今回もこのような設問の設定の仕方をした。

委員意見：インタビュー調査の中の設問６で、病院バスに関する満足度を聞いているが、運行時間帯に対してネガティブな回答があった際、利用者の声に合わせて改善するというのは、可能なのだろうか。

事務局：１０分早ければ予約の時間に間に合うといったような意見が出てくると想定している。そういった不満を設問６で聞き取り、設問８で詳しく掘り下げるといったインタビューの流れを想定している。あくまで市の職員が聞き取りを行う上での用紙としてご理解いただければと思う。

委員意見：アンケート用紙をいただければ、私の参加している集まりに配ることも可能である。そういったところでも協力はできると思う。

事務局：利用になられていない方や地区外の方もいらっしやると思うが、多くの意見を集められるため、事務局としても積極的に検討していきたいと思う。

委員意見：きらくやまルートの往路は、ＪＡとりで総合医療センターへの到着時間が８時３５分となっているが、伊奈庁舎ルートの到着時間は９時５０分となっている。

この時間では、新患の方の受付終了時刻間際である。伊奈庁舎ルートの往路の時間を早めることはできないのだろうか。

事務局：2つのルートを1台の車両で運行するため、この時刻の到着となってしまうことをご理解いただきたい。また、JAとりで総合医療センターの性質上、紹介や予約の方がメインの病院となっている。きらくやまルートより到着は遅くなってしまうが、受付時間に間に合うようには設定をしているところである。

会長：様々な問題を解決するには、試行錯誤しながら悪い点を修正し、運賃を含めてよりよい運行システムにしていく必要がある。皆様からのご意見を受け止め、よりよい運行システムにしていけたらと思う。

(2) 市北西部公共交通アンケートについて

- ・現在コミュニティバスが運行していない市北西部について、交通手段に関する実態の把握を目的として実施予定のアンケート調査について報告した。

【質疑等】

委員意見：「市北西部」という表現ではどの地区を指しているのかピンと来ない。はっきり十和地区、谷原地区、福岡地区と書いた方がいい。

また、沿線区長へのアンケートとあるが、最近の区長さんは半数以上が毎年変わっていて、地域に対する密着度は低いかもしれない。各家庭の構成までは分かるかもしれないが、アンケート調査票の中の質問事項となると、そこまでは把握しきれていない。このアンケートの内容に答えるとなると、各家庭を訪問しヒアリングという形にしないと難しいと思われる。

アンケートの中身についてだが、「移動の目的」を回答するところで、「買物」という選択肢があるが、どこに買い物に行くかというところまで聞いた方が、地区ごとの実情を把握できると思う。

会長：非常に貴重な意見が得られた。そういった点にも配慮してやっていただきたいと思う。事務局の説明で高齢化による交通弱者の増加とあったが、交通弱者にも様々な側面がある。買い物に行けない方、経済的な理由で車を持っていない方など、単に高齢化による交通弱者の増加とするのではなく、内情をしっかりと把握していただきたい。

(3) その他

- ・コミュニティバス 利用者アンケート調査、筑波学園病院 病院バス 利用者アンケート調査、市北西部公共交通アンケート調査について報告した。

【質疑等】

委員意見：先程の市北西部アンケートについて、アンケートを行う前に事前にヒアリングをお願いしておくのではないだろうか。コロナ禍ということもあるのでなかなか難しい点もあると思うが、よりよいアンケート結果が得られるのではないだろうか。また、集計が大変になってしまうが、行政区ごとにアンケートの形を変えるなどの工夫もよろしいかと思う。

事務局：行政区といっても人数や大きさは様々であるため、委員からいただいた意見を考慮しつつ、アンケート調査を行っていきたいと思う。

委員意見：沿線区長に会議に出席してもらうとなると、平日は難しいのではないだろうか。平日だと大きく参加人数が減ってしまうと思われる。区長会も通常は土曜日から日曜日に行っている。

事務局：沿線区長に出席をご依頼するうえで、日程の調整は大事だと思っている。ただ、コロナ禍ということもあるため、該当する区長様全員にお声掛けしてお呼びするのは難しいと思う。区長会長にご相談したうえで、人数を絞ってご依頼しようと考えている。

7 閉会（午後 2 時 2 5 分）

●配布資料

- 【資料 1】 令和 4 年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について
- 【資料 2】 コミュニティバスお試し乗車券について
利用促進活動について
- 【資料 3】 J A とりで総合医療センター 病院バス実証運行について
- 【資料 4】 市北西部公共交通アンケート調査について
- ・令和 3 年度つくばみらい市地域公共交通会議 委員名簿
- ・つくばみらい市地域公共交通会議要綱